

～夢の掛け橋募金による次世代環境教育プログラム～

100回記念「森の教室 ～どんぐりくんと森の仲間たち～」 が東京都の保育園で 開催されました

2016年5月11日（水）
於：新宿こだま保育園

ファミリーマートは、森林の素晴らしさ、自然の大切さを
将来世代に伝える「森の教室」を応援しています！

ファミリーマートは2012年より、店頭募金「夢の掛け橋募金」の寄付先団体の一つとして、公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「森の教室～どんぐりくんと森の仲間たち～」プロジェクトの活動を支援しています。

記念すべき100回目の開催に「どんぐりくん」とファミリーマートの環境キャラクター「エコロン」が訪れたのは、東京都新宿区の新宿こだま保育園。東京都の保育園・幼稚園では初めての開催となります。ファミリーマートからも園の最寄り店である西落合店店長や社員が出席して、100回記念のセレモニーを盛り上げました。

祝！100回記念



今回で100回目の開催、参加者約1万名になりました！

国土緑化推進機構が「夢の掛け橋募金」を通じて主催する「森の教室～どんぐりくんと森の仲間たち～」は幼稚園・保育園児に森林がもつ様々な役割を伝え、「いのち」の大切さを教える全国巡回型プログラムです。2012年福島県郡山市に被災地富岡町から避難していた保育園児と幼稚園児を訪ねたことからプログラムがスタートし、これまで17都道府県で開催、約1万名の園児たちが参加しています。

100回目に訪れた新宿こだま保育園の60名の園児たちも「どんぐりくん」と「エコロン」が登場すると、目をキラキラ光らせて大喜び！「山にある木は土砂崩れを防ぐんだよ。」「森の栄養がたっぷり詰まった水が海へ流れていくのかあ。森の力って凄いんだね。」「人形劇を食い入るように見て、森林の役割と大切さを学んだ園児たち、「どんぐりくん」と「エコロン」と一緒に元気に「森の体操」も踊りました。



「どんぐりくん」と「エコロン」、進行役「森のお姉さん」の人形劇で、楽しみながら森の大切さを学びました



お話で夢中になる園児たち。



「みんな元気に踊れるかな？」「オー！」



音楽に合わせて「森の体操」を踊りました。

100回記念のセレモニーが行われました

「森の体操」で体を動かした後は、元気な森を育てていこうという思いを込めて、間伐作業をイメージする100回記念のセレモニーが行われました。園児の代表2名が、林野庁森林整備部の本郷部長とファミリーマートの中出顧問とチームを組み、木製のノコを持って発泡スチロールでできた木を間伐していきます。「ヨイショ！ヨイショ！」園児全員の元気な掛け声に合わせて木を伐ると、100回記念をお祝する垂れ幕が現れました！

間伐することにより、森の中に太陽の光が入り健全な森が育成されます。林野庁森林整備部の本郷部長からは、前の世代から引き継いだ森を、次世代に引き継いでいくために、間伐した木を少しずつ使ってもらいたいという思いを、お話しいただきました。



園児と力を合わせて間伐する林野庁森林整備部の本郷部長（右）とファミリーマートの中出顧問（左）



100回記念を祝う垂れ幕



園児に語りかける林野庁森林整備部本郷部長



ファミリーマート 北村管理本部長の問いかけに、園児たちは元気に応えてくれました！

みんなで植えたどんぐりをこれから大切に育てていきます！

セレモニー後は外に出て、園児一人ひとりがどんぐりの実を植えました。植えられたどんぐりは園児たちが責任を持って水をやり、大切に育てていきます。苗木に成長したどんぐりは、2年後には森に植樹される予定です。ここで植えられたどんぐりが豊かな森林を育てていくのです。「森の教室」100回目を記念して、記念品の贈呈も行われました。ファミリーマート西落合店の渋谷店長からの贈り物が「お菓子」とわかると園児たちは大喜び♪

「どんぐりをしっかり育てて行きます！」園児たちが元気よく声を合わせて宣言をし、100回記念の「森の教室」は閉幕を迎えました。森の大切さを学んだ園児たち、使命感を持ってどんぐりの実を守ってくれそうです。どんぐりの成長が、今から楽しみです。



説明をしっかり聞いて、クヌギとマテバシイの実を植えました。クヌギは丸っこくて、マテバシイは細長い実。どんぐりは横にして植えるんだよ！

みんなで豊かな森林を育てていこうね



みんなで植えたどんぐり、元気に育ってくるといいね♪



ファミリーマート西落合店の渋谷店長から記念品の贈呈



園児全員で「どんぐりをしっかり育てていきます！」宣言をしました

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。